

令和 7 年度 浜松市在宅医療・介護連携相談センター※の実施状況等について

福祉総務課（医療・介護連携担当）

1 令和 7 年度実績

(1) 相談業務

相談対応延件数 874 件（実件数 233 件）

※詳細：資料 5-2 浜松市在宅医療・介護連携相談センター相談状況（令和 7 年度）

(2) 課題の抽出と報告

令和 7 年度に相談業務において確認された事例から課題を抽出し、実態・実情を取りまとめて次のとおり 3 件報告し、解決に向けた対応策等必要な情報の提供を行った。

- ①在宅医療で生活する高齢者の特別養護老人ホーム入所に係る胸部レントゲン撮影について
- ②短期記憶に難がある高齢者の白内障手術について
- ③認知症の周辺症状治療が可能な医療機関の情報について

(3) 社会資源の現状把握と関係機関との連携

- ・介護医療院、療養型病床、介護老人保健施設を対象としたアンケートを実施し、施設から同意を得た範囲の情報について地域包括支援センターに情報共有した。（6 月～10 月）
この調査から、身寄りのない人に係る成年後見人の必要性など実態を把握することができた。
- ・透析が必要な ADL（日常生活動作）が低下した高齢者について、自身での運転及び家族の送迎ができないケースがある。この場合、介護タクシーの利用が考えられるが、介護タクシーでの通院は高額になることから週 3 回の通院は難しいことが多い。相談対応のためには、自宅等への送迎サービスがある医療機関の情報が必要であることから、透析施設への情報収集を行った。（12 月）
- ・地域包括ケア病棟意見交換会を開催し、参加病院の受け入れ状況等について情報交換を行った。特に介護認定調査の期間については頻繁に意見が出ており、7 月の会議には参加病院の要請を受け、介護保険課に出席を依頼し、介護保険課から状況の説明を行った。（7 月、1 月）

※浜松市が公益財団法人浜松市医療公社に業務委託し、平成 28 年 1 月から医療センター内に開設。在宅医療・介護の連携に関する支援の窓口として、主に高齢者（介護保険被保険者）等を支える医療・介護・福祉関係者からの相談に対応している。

- ・個別ケースケア会議にオブザーバーとして参加（7件）
- ・地域問題解決のためのケア会議に参加（4件）
- ・研修会等への参加（32件）

(4) 在宅医療・介護連携推進事業の実施運営協力

- ・地域包括ケアシステム推進連絡会の運営及び活動への協力（40回）
- ・ケアマネジャーと病院職員の意見交換会～入退院に関わる職員の交流～を浜北エリアで開催（9月）

(5) 在宅医療及び介護連携に関する専門知識の講義講演

- ・地域包括支援センターが実施する研修等での講演（5件）

(6) 在宅医療及び介護連携に関する相談窓口及び業務の周知

- ・会議等で業務内容等の周知（7件）
- ・つむぎ通信の発行（3回：5月、12月、3月）
- ・ホームページの更新（6回）

(7) その他業務

- ・一般社団法人静岡県医師会シズケアサポートセンターが主催する「令和7年度あつまれ！在宅医療・介護連携コーディネーター座談会」に参加し、県内の在宅医療・介護連携コーディネーターと交流した。

2 令和8年度活動計画（相談業務以外の取り組み）

- ・【新規】浜松市内在宅医療・介護連携担当者の意見交換会を開催。
- ・医療・介護施設等（特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム）を対象にアンケートを実施（看取りの対応の有無や緩和ケア等についても確認）。
- ・在宅連携センターつむぎ相談利用者へのアンケートを実施。アンケート結果から、業務の改善に繋げる。
- ・地域包括ケア病棟意見交換会の開催（年2回程度）
- ・地域包括ケアシステム推進連絡会の運営及び活動への協力（随時）
- ・在宅医療及び介護連携に関する専門知識の講義講演（随時）
- ・個別対応策検討会議の開催（随時）
- ・つむぎ通信の発行（年3回発行予定）